

公務員試験体験談

～官民併願を経験して～

札幌学院大学法学部法律学科 J190600 木幡亜美

◇ 合格した職種について

北海道職員（一般行政）に合格しました。両親が公務員ということもあり中学生のころから公務員になりたいと思っていました。しかし、大学生になるまでは、どのような職種かは考えていませんでした。大学生になってから、大学の公務員説明会に参加したり大学のまちおこしの活動をしていく中で北海道が抱える問題解決に貢献したいと思い北海道職員を目指しました。

◇ 大学4年間のうち、各学年で公務員試験に向けてどのような勉強をしていたか

1年次は、公務員受験をした兄から譲り受けた参考書で数的処理や判断推理の問題を解いていました。頻度は気が向いた時だけです。公務員受験に向けて勉強をしていたわけではありませんが、この時期に受けていた法学検定（ベーシック）の講座はのちに公務員試験で法学を勉強する時間の短縮につながりました。また、公務員試験合格者の座談会や公務員説明会に参加し、仕事内容や勉強内容、面接の攻略法を学びました。1年の後期には北海道職員になろうと決めていました。

2年次は、後期から大学内の公務員講座LECを受講していました。出題の可能性が高い部分を重点的に教えてもらえ、テストをしてくれるので勉強管理ができない自分にとってはとても良い環境でした。並行して大学の公務員対策特別演習も受講しました。予習は行わず授業をしっかり聞き問題を解いてみることを繰り返しました。数的処理・判断推理は『毎日5問』、文章理解は『毎日3問』、その他の科目は『授業前に前回習ったところの問題を解く、授業後今日学んだところの問題を解く』をしていました。参考書のすべての問題を解いていたのではなく難易度の低い問題を解いていました。

3年次は、2年次の内容に加え論文や面接練習をしました。面接内容や論文の問題は講座で準備してもらいました。面接は10回以上、論文は約5回添削してもらいました。

4年次は上記に加え公務員講座の先生やキャリア支援課に些細なことでもたくさん相談し試験や面接に挑んでいました。

☆ 公務員試験を受ける上で役に立った大学の講義

① 公務員対策演習 A～G

判断推理、数的処理、歴史、地理などを授業で取り扱ってくれます。難易度の低い問題にたくさん触れられます。

② 職業と人生 A～D

就活のプロが今年の就活の傾向を教えてください。また、エントリーシートの添削も行ってくれます。今の時期にどんなことをやっておけばよいのかを知ることができとても身になった授業でした。

③ 職業を知る

お辞儀の仕方や挨拶、などの礼儀作法を学べます。面接で役に立ちました。

④ 法学検定（ベーシック）の講座

公務員試験の法学の勉強の短縮につながります。公務員試験（北海道職員）の法学科目の出題レベルはこれくらいかと思います。

☆ 勉強が辛い時期があったか。またそれをどう乗り越えたか。

① 3年次冬、課外活動との両立時

学業以外の活動との両立は勉強時間が短くなり不安が大きくなりました。しかし、どうしてもやりたかったので今の現状をキャリア支援課に相談し自分の勉強スケジュールを組み立てできることを増やしていきました。

② 民間との両立時

官民併願の情報は身近にはありませんでした。私は情報をうまく得られず民間にも公務員にも全力投球してしまい（とりあえず民間 20 社受けてみるという目標を立てた）力つきていた時期がありました。その後、キャリア支援課に相談し、無事に公務員試験前に民間の内定を 1 社頂くことができました。

☆ 大学時代もっと取り組んでおけばよかったと思うこと

① 早めにキャリア支援課に相談

3年の秋ごろから相談を始めました。不安を解消でき、もっと早く相談すべきだったと思っています。何度も相談していくうちに自分の就活の現状を知ってもらえ、自分に合った就活先も紹介してもらえます。相談する時期に早すぎることはありません。

② アウトプットをとりあえずする

面接の回答文をきっちりとした文を書き起こしてみしてから面接の練習をしてみたり、完璧にできていないからエントリーシートの添削してもらわないなど行動を起こせない時期がありました。箇条書きにまとめ結論から根拠を言うようにしたり、エントリーシートはある程度かけたらず出すというようにしていくと上達の変化がありました。

☆ 面接の内容

1. 緊張をほぐす質問（朝ごはんは何を食べたか？地元はどこ？）
2. 併願状況
3. 今までした失敗について
4. 趣味・特技について
5. 課外活動（ボランティア・サークル）の取り組みについて
6. 国家を受けないのはなぜか？
7. 転勤や就活について両親はどう思っているのか
8. 地元が抱える社会問題について

※エントリーシートについてとても詳しく聞かれます。

☆ 面接対策としてやっておいた方が良かったこと

① いろいろな人と面接練習を行い数をこなす

私は、10回以上練習しました。しかし、決まった人とたくさん行っていたのである時、今までとは雰囲気が違う模擬面接担当の先生に当たった時、うまくいかず不安が大きくなりました。いろいろな先生と行い自分はどんな時話したいことが話せなくなってしまうのか分析していくといいと思います。また、どんなに回数を重ねても本番は緊張しました。緊張が気にならなくなったのは公務員試験の前に民間の面接を複数回行ってからでした。

② 会話のキャッチボールをこなすこと

噛まずにすらすらとセリフのように話すのはあまり印象が良くありませんでした。大切なのは会話が心地よくできることです。噛んでしまっても少し悩んで答えても問題ありません。

☆ その他公務員合格のために大事だと思ったこと

■ 完璧にやらないこと

『数的処理・判断推理は毎日5問、文章理解は毎日3問、そのほかは授業のある日、授業前に前回習ったところの問題、授業後に今日学んだところの問題を解く』を目標としていましたが、できない日もありました。1問しかできなかった日、全く何もやらなかった日、連続して勉強をさぼってしまった日…。意外とこれは問題ありませんでした。しかし、その後、もうやっても追いつかない、仕方ないと思いやる気があるのに勉強をしなかったらおしまいです。自分なりの継続を続けると力になります。

■ 気持ちを大切に、感じたことをメモる

公務員の説明会で話を聞いたとき聞いた内容だけでなく自分がどう思ったかをメモしていました。企業研究をしながら自己分析ができとても便利でした。また、公務員試験の勉強をしているときも同じでした。この問題は嫌いか好きか、面倒くさいか、時間があれば解けるのか、解きたくないか、解いていて面白いのか。優先順位が生まれ、マイナスな言葉が書かれている問題が解けた時の達成感は強く感じるなどモチベーションが高まりました。

☆ 就活についてのアドバイス、最後に後輩たちへメッセージ

就活中上手くいかない、焦っているなどと思ったとき必ず以下の2つは改めて心掛けるようにしていました。

- 完璧主義にならないこと
- 相談すること

完璧にできていないから次に進まないのは時間がとてももったいないことでした。最初からうまくはいきません。不格好でもやっていくうちに何事も形になっていきます。また、就活は一人で乗り越えられるものではありませんでした。こんなこと相談してもいいのかな？みんなはスマートに一人でこなしているのではないだろうか？就活をしていると周りが優秀に見え自分がみじめに感じることもありました。相談をしてみじめに感じたことはありません。

ひとりで抱え込まず周りに相談し自分なりのペースで就活を進めていけば道は開けると思います。がんばってください!!